

事前課題

第 21 回 神奈川県障害者技能競技大会

ホームページ 事前課題

1. 競技の概要

競技参加者は、この事前課題にしたがって競技当日までに競技参加用の作品を作成しておくことが求められる。当日は、その作品を元に新たに示される課題に取り組む。

2. 競技時間

60分

3. 課題の概要

神奈川県にある市の商工観光課から、「神奈川県の温泉地紹介」の情報を閲覧できるホームページサンプルの作成依頼がありました。温泉地各所のアクセスや歴史などの紹介情報だけではなくバリアフリー対応の状況もあわせて紹介できるホームページを作成してください。

事前課題では次の3つのコンテンツを最低限用意する。

「温泉地の概要紹介コンテンツ」「温泉地のバリアフリー対応とは何かを説明するコンテンツ」「温泉地各所の詳細コンテンツ」

※この事前課題の制作物は、競技当日にも使用する。

4. 要件

コンテンツの要件

[概要]

これまで訪れたことがない方が行ってみたいと思って頂けるように、国内外の来訪者や近隣の住民が温泉地の良さやバリアフリーの対応状況を知って行ってみたいと思って頂けるような紹介ページの作成をお願いします。

[想定する閲覧者について]

温泉地を訪れたい方、バリアフリー対応状況を知りたい方

[最低限必要な要件について]

- ・ 「温泉地の概要紹介コンテンツ」の作成
- ・ 神奈川県の温泉地の概要紹介とバリアフリー対応人気ランキングの情報が表示されており、その名所から詳細ページへ遷移できるようにする。
- ・ 「温泉地のバリアフリー対応とは何かを説明するコンテンツ」の作成
- ・ 温泉地のバリアフリー対応とは何かを説明する際、バリアフリーの対応について文字情報だけではない要素で紹介していること
- ・ 「温泉地各所の詳細コンテンツ」の作成
- ・ この詳細コンテンツでは、温泉地各所のバリアフリー対応状況の他、できれば温泉地の歴史が分かる情報も紹介する
- ・ 写真やイラストを使用する場合はオリジナルを用意してください。動画は必要ありません。
- ・ 利用者は高齢者、障害者も意識してください
- ・ スマートフォン利用者が増えていることもあり、レスポンスデザインによるスマートフォンにも対応ください。

[その他の仕様]

- ・ ソースコードは見やすく分かりやすく記述すること
- ・ 他人の力を借りず、競技者自身が今回の競技の為に新たに作成すること
- ・ 動画、画像、音楽、文章等はオリジナルのものを用意し、他人の知的財産権を侵害しないこと
- ・ JavaScript は使用しても良い。
- ・ 文字コードは UTF-8 を使用すること
- ・ 障害のある方に配慮したホームページを作成すること
- ・ 仕様に書かれていないことについては、自身で判断して構わない

5. 作品提出方法

作成した作品は CD/DVD1 枚に保存し、大会当日競技会場へ提出すること。

6. 当日課題について

課題は競技開始後に示される。概ね 2～3 題（15%～20%）程度変更する。

キャンペーン期間を設け、この期間に温泉地を利用された方にプレゼントを実施する内容の告知ページを追加し、エントリーフォームで応募してもらうなどを追加する。

7. 当日にすること

- ・ 競技が開始されたら次のようにして課題に取り組むこと
- ・ 事前課題として作成してきた作品を競技用 PC にコピーし編集・閲覧を可能にする
- ・ 必要があれば、用意した素材(アイコン、イラスト、写真など)も PC にコピーする。
コピーするものは原則フリーのものが望ましい
- ・ 特別に高価な素材などの利用が認められる場合には、利用を控えていただく場合がある。あるいは加点の対象としない
- ・ 素材については、事前課題提出用の CD/DVD とは異なる CD/DVD に入れて持参すること。但し、1 枚までとする

8. 競技当日の作品提出方法

作成した作品は、大会主催者が用意する競技用「USB メモリ」内の「作品」フォルダ内に提出する。「作品」フォルダ内は、サブフォルダの作成も含め、適宜設定してよい。

9. 競技における使用機器・ソフトウェア

OS : Microsoft Windows 10 Home

ブラウザソフト : Google Chrome

テキストエディタ : TeraPad Ver1.09

画像閲覧ソフト : PictBear Ver2.04

10. 注意事項

- ・ 競技に使用するパソコン、OS、ソフトウェアは、主催者側で用意したものとする
- ・ 競技パソコンの Windows に標準インストールされているソフトウェアは自由に使用して良い
- ・ ソフトウェアは大会主催者が用意するものを使用し、他のソフトウェアの持ち込みは認めない
- ・ 市販の参考図書は原則 1 冊までの持ち込みを認める。全部あるいは一部を点訳したものでも構わない（持ち込む参考図書は当日、内容を確認する）
- ・ ノートやメモ紙、印刷物などの紙媒体の持ち込みは認めない。違反が認められた場合は、競技への参加を辞退してもらう場合がある
- ・ 競技中インターネット接続による Web ページの閲覧はできない
- ・ 障害特性により、競技参加において必要とする補助具等がある場合は、事前に事務局に申し出ること。ただし、競技の公平性や、会場設営の都合等を考慮した結果、必ずしも希望に添えない場合があること
- ・ これらの補助具等は、競技者自身が持参し、大会当日に競技委員立会いのもと導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮はしないこと
- ・ その他については、競技委員の指示に従うこと

11. 採点方法

- ・ 課題で示した仕様に従って作成する。（基礎力）
- ・ 分かりやすく使いやすい。間違いなど含まない。（技術力）
- ・ 競技者のアピールポイントが良く伝わってくる。（訴求力）
- ・ 競技者独特のユニークさがある。（独創性）
- ・ 人を惹きつけるデザインになっている。（芸術性）
- ・ 障害の有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されている。
（アクセシビリティ）

なお、採点は、競技当日に作成されたものを対象にして行われる。
事前に持ち込まれた素材等については採点の対象とはならない。